

県立土浦工業高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

自己開発や自己実現に必要な知識・技能の修得を図るとともに、豊かな人間性の涵養と心身の鍛錬に努め、幅広い視野に立って社会の発展に寄与する青少年の育成を図る。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
探究の見方・考え方を働かせ、持続可能な社会を実現するための諸問題に関して総合的な学習を行い、自己の在り方生き方を考える活動を通して、生徒が自主的・積極的に社会貢献できるようにするために以下の資質・能力育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述、グループワークの計画書、中間発表、最終発表、作成資料等を評価の対象とする。 グループワークにおける対話的活動の行動観察や発表における生徒による自己評価や相互評価も評価の材料とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒面談週間（学期はじめ） SC による定期面談 月 1 回の情報共有 いじめ防止対策会議 特別支援教育コーディネータを中心とした連絡指導体制の確立

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ 課題研究 ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を実現するための諸問題について探究する。 講演（地域自治体や研究施設等）により探究課題への知識を深め、4 人程度のグループにより各々の感じた諸問題を話し合う。更に自ら探究していくテーマを設定し、グループでテーマを元に調べ学習を行い、諸問題の構造や解決に向けての提案をポスターにまとめ発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究委員会（特別活動 1 名、教務 1 名、各工業学科長、1 学年担当者、2 学年担当者、共通教科代表者） 外部機関との連絡調整、協力体制の構築 授業担当者連絡会の設置、情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや身だしなみなど社会マナーの基本が身についている。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来と社会の関わり、職業適性を探究する。 進路を実現するための手段や資格について調査分析し、高校から卒業後に向けてのキャリアプランをまとめ、自分が職業人として、どの様に社会に貢献していくかを表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンス、インターンシップ等の活動をとおり、企業等と連絡・連携 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを通して工業に関する技術や技能を習得し地域産業や社会貢献できる。
3 年 (課題研究)	<p>課題研究で 2 単位代替探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの意見や発表を肯定的にとらえ、新たな価値を見出し、自主的・積極的に社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表の際、保護者等の参観等による家庭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や困難に対して、自ら考え、主体的かつ、強調的に取り組める。